

社会学部 社会学科

入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）

社会学部は、社会学の専門的知識・技能を身につけ、自らの未来を切り拓く実践力を備えた人間の養成を目指して教育を行っています。そのため、本学部で学ぶ意欲があり、高等学校までの学習や経験を通じて基礎的知識を持ち、身近な問題に自ら取り組み、その成果を表現できる力を身につけていることを重視します。入学者の受入れは、下記の方針に基づいて適正に行います。入学者の選抜は、高等学校又は中等教育学校を卒業した者に限らず、帰国生徒や社会人、編入学、留学生、多様な背景を持った者など、さまざまな個性、能力等を有する人々を受け入れることができるよう、入学者選抜区分に沿った多様な選抜方法を用意して行います。

【社会学部が求める学生像】 次の①～⑤のような学生を求めています

- ① 高等学校の教育課程を幅広く修得している人、または同等の学力を有していると認められる人
- ② 身近な問題について、知識や情報を基にして、筋道を立てて考え、その結果を説明することができる人
- ③ 社会学部で主体的に学ぶ意志がある人
- ④ 学んだ知識や経験を社会で活かしたいという意欲がある人
- ⑤ 地域における社会的活動、文化、スポーツ活動等に取り組む意欲がある人

【入学志願者に求める学習の取組】

- ・高等学校の教育課程における学習を通して、文化や社会に関する基礎知識、加えて思考力、表現力等を身につけておく必要があります。
- ・体験型学習等を通して、物事に主体的に関わっていく態度、様々な他者と協働して何かを成し遂げる能力、自分自身の考えを発信していく力を身につけておく必要があります。
- ・地域社会が直面する問題を多様な観点から理解し、的確かつ精密に分析する力を養うために、様々な社会現象に広く関心を持つ態度や、様々な分野の学習に取り組んでいく態度を身につけておく必要があります。

【入学者選抜の基本方針】

1. 入学者選抜方法

(1) 総合型選抜

選抜方法：「調査書」「大学入学志望理由・自己推薦書」「面接」「小論文」

本学部のアドミッション・ポリシーを正しく理解した上で、本学部のカリキュラムに基づく学習を進めていくために必要となる「思考力」、「表現力」、「主体性」等を中心に総合的に評価するという観点から、上記の選抜方法に基づいて評価して選抜します。

入学者選抜区分：総合型選抜、社会人特別選抜、編入学選抜

(2) 学校推薦型選抜

選抜方法：「推薦書」「調査書」「大学入学志望理由・自己推薦書」「面接（口頭試験含む）」
「小論文（留学生選抜のみ）」

本学部のアドミッション・ポリシーを正しく理解した上で、本学部のカリキュラムに基づく学習を進めていくために必要となる「主体性」、加えて「表現力」、「思考力」、「知識・技能」等を、所属する高等学校の推薦内容を踏まえて評価するという観点から、上記の選抜方法に基づいて総合的に評価して選抜します。

入学者選抜区分：公募・指定校学校推薦型選抜

(3) 一般選抜

選抜方法：「調査書」「大学入学志望理由・自己推薦書」「学力検査」

高等学校修了レベルの学習の達成度を重点的に評価するという観点から、上記の選抜方法に基づいて総合的に評価して選抜します。

入学者選抜区分：一般選抜、大学入学共通テスト利用選抜

2. 選抜方法の内容と評価要素

(1) 調査書

選抜方法：「総合型選抜」「学校推薦型選抜」「一般選抜」評

価要素：1) 知識・技能【A P ①】

「各教科・科目等の学習の記録」「各教科の学習成績の状況」「学習成績概評」

2) 思考力・判断力・表現力【A P ②③④】

「総合的な探究の時間の記録」「特別活動の記録」「指導上参考となる諸事項」「備考」 3)

主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度【A P ②③④⑤】

「総合的な探究の時間の記録」「特別活動の記録」「指導上参考となる諸事項」「備考」

※「備考」については「本学アドミッション・ポリシーに関連した学習成果」の記載を求めます。

※留学生選抜、社会人特別選抜及び編入学選抜では、調査書の代わりに成績証明書・卒業証明書などを用います。

(2) 大学入学志望理由・自己推薦書

選抜方法：「総合型選抜」「学校推薦型選抜」「一般選抜」

評価要素：志望理由やこれまでの経験等を記述することにより、社会問題や社会で生じている様々な現象に対する関心などが高いか等を判断基準として、「主体性」、「多様性」、「協働性」を評価します。

(3) 推薦書

選抜方法：「学校推薦型選抜」

評価要素：第三者視点から、高等学校における教育課程の「習熟度」「授業態度」、校内、校外での活動による「行動力」、「協働性」、「多様性」を評価します。

(4) 面接（口頭試験含む）

選抜方法：「総合型選抜」「学校推薦型選抜」

評価要素：質疑応答により「主体性」、「表現力」、「思考力」、「判断力」、「学習・活動意欲」を評価します。

(5) 小論文

選抜方法：「総合型選抜」「学校推薦型選抜」

評価要素：設問に対する答えとして適切であるか、自分の考えを論理的に述べているか、日本語の文章表現として適切であるか等を判断基準として、「知識」、「思考力」、「表現力」を評価します。

(6) 学力検査

選抜方法：「一般選抜」

評価要素：一般選抜、大学入学共通テスト利用選抜ともに、高等学校修了レベルの「国語／外国語／地理歴史／公民／数学／情報」に対する「知識」、「技能」、「思考力」を評価します。

【入学者選抜区分ごとの評価の比重】

社会学部が求める学生像や学習の取組に基づき、本学部のカリキュラムに基づく学習を進めていくために必要となる「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」「主体性・多様性・協働性」を総合的に評価するという観点から、下記の入学者選抜区分ごとの評価比重に基づいて選抜します。

入学者選抜区分	学力の3要素		
	知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体性・多様性・協働性
	(①)	(②③④)	(②③④⑤)
総合型選抜	○	◎	◎
学校推薦型選抜	○	○	◎
一般選抜	◎	○	△

注1) ①～⑤は社会学部が求める学生像との対応を示しています。

注2) 重視する度合いが高い順に「◎」「○」「△」となります。

注3) 各入学者選抜区分において、多様な選抜方法を設けています。詳細は入学者選抜要項をご覧ください。